

フォーティーズ便り

発行:横濱フォーティーズ野球倶楽部
報道部編集
http://www.office-thank.com/~forties/

特集

第25回全日本生涯野球大会 平成25年6月1日~2日 上田市・千曲市・長野市



この時はまだ逃げる気満々



でもこんな感じで開会式 逃げられません



珍しい組み合わせのバッテリー

●おとうさんの甲子園 ~勝っても負けても明るく元気で2日間で3試合

6月1日~2日にかけて秋葉監督率いる総勢15名の野球球童に同行。当日の試合がある為早朝6時には横浜駅を出発、シティアksesの唐澤運転手、よろしくお願いします。出発もなくあちこちからブシューッと缶を開ける音が。これが生涯野球の開始の合図。飲み物食べ物は小林会長が早朝からコンビニを梯子してかき集めてくれました。ほろ酔い気分で野球談義に盛り上がり、途中関越三芳SAで伊藤慎運営委員長が合流。車内はよりの層騒がしく。この頃には選手は皆ソフトドリンクに切り替え戦闘体制。恒例のみすず飴本舗の飯島商店に加え、今年は市場にも寄ってお土産の買出し。お弁当を車中で頬張り、験の良い千曲橋緑地グラウンドへ直行。暑くもなく寒くもなく野球日和の信濃千曲川から吹き寄せる風はとても気持ちがいい、なんて言っている暇はなく、お父さん方はやる気満々、キャッチボールの相手やバツピを勤めさせていただきました。初戦は堅い内外野の守りと投手リレーに翻弄され落としましたが、今年デビューの還暦ルーキーの2人に期待しましょう。終了後疲れた体に鞭打って開会式へ。例年入場行進を済ますと引き上げていたのですが、開催側も色々考慮し今年から手法を変え逃げられない工夫がありました。それでも参加の来賓が競うように短い挨拶で済ませ、場内は大喝采。全ての行事に参加しやっと梅むらへ。風呂に入って夜の宴会をしつつ今日の反省と明日の必勝を誓います。(浜翔:石川伸)

A7リーグ

【1日目】6月1日 土曜日

第1試合 13:45~ 千曲橋緑地グラウンドA

G Sクラブ (埼玉) × 横濱フォーティーズ 野球倶楽部

【2日目】6月2日 日曜日

第2試合 10:15~ 千曲橋緑地グラウンドA

横濱フォーティーズ 野球倶楽部 × 本庄クラブ (埼玉)

第3試合 12:00~ 千曲橋緑地グラウンドA

横濱フォーティーズ 野球倶楽部 × 朝霞ニューエルターズ (埼玉)

●遠征参加メンバー●

監督	秋葉 雅司	主将	有馬 一興
	福島 武男		小林 一三六
	塚田 惣治郎		岡崎 四郎
	大西 直良		久保田 壮
	佐藤 隆		太刀岡 正
	伊藤 重美		丸山 正蔵
	弘中 敏道		持丸 末博
報道	高須賀 隆	記録	石川 伸哉
運営	伊藤 慎悟		以上17名



はい、おなじみの宴会写真。
この時はまだ明日の勝利を信じていました。

先月の寿野球同様、初戦の先発は塚田が務める。初回上々の立ち上がりで無失点に抑える。相手は埼玉GSクラブ、関東勢同士の対戦だ。2回表5番武村に安打を許すと2死三塁とされ、8番涌井の当たりは右ほぼ定位置へ。不慣れた右翼弘中が目測を誤り先制三塁打となり、更にもう1点追加され2点のリードを許す。その裏太刀岡安打で出塁すると丸山の三ゴロの間にすきをみて三進する。この好走塁が生き、続く岡崎に中犠飛が出てすぐさま1点を返す。ミスを取り返したい弘中最初の打席で見事初安打を放ち、半分帳消しかと思われたが、二盗が微妙な判定で失敗に。ルーキー弘中ホロ苦デビュー。投手3回制限ルールで4回から登板の有馬も立ち上がりをもつて凡退で凌ぎ、4回終わって1-2と互角の戦い。しかし5回表2四死球と失策で2死満塁、次打者に押し出し、10番小永に中前適時打を浴び痛い3点を失う。GS2番手押谷に3回を無安打に抑えられ、今年は黒星スタートとなった。(浜翔:石川伸)

①第1試合【1回戦】
6/1(土) 13:45 千曲橋緑地グラウンドA

塚田・有馬で緒戦敗退
打てず岡崎の中犠飛の1点止まり

(埼玉)	(0)	(3)	(1)	(0)	(1)	(0)	計	安打
G・Sクラブ	0	2	0	0	3	0	5	(5)
横濱フォーティーズ	0	1	0	0	0	0	1	(3)
	(1)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)		

勝 武村 S 押上 敗 塚田

V打点: 涌井

三塁打: 涌井(GS)



<敢闘賞>
好走塁で唯一の得点に繋げました。

太刀岡

横濱		打	安	打	盗
守	氏名	数	打	点	塁
6	伊藤重	2			
8	佐藤隆	2			
4	大西	1	1		
5	持丸	2			
2	太刀岡	2	1		
3	丸山	2			
7	岡崎	1	1		
1	塚田	1			
1	有馬	1			
9	弘中	2	1		
D	福島	1			
D	小林一	1			
D	久保田	1			
D	秋葉	1			
チーム計		20	3	1	0

※守備位置はスタート時

G・S		打	安	打	盗
守	氏名	数	打	点	塁
5	加藤	3			
8	三谷	2			
4	古村	2			1
D	高橋	2			
1	武村	1	1		1
6	大宮	1			
3	塩野	2			
7	涌井	2	1	1	
2	鈴木	1	1	2	
9	小永	2	2	2	
D	押上	2			
D	菅原	2			
D	浜崎	1			
チーム計		23	5	5	2

投手	回	安	四	三	失	投手	回	安	四	三	失
氏名	数	打	球	振	点	氏名	数	打	球	振	点
塚田	3	4	1	2	2	武村	3	3	0	1	1
有馬	3	1	5	2	3	押上	3	0	1	1	0
チーム計	6	5	6	4	5	チーム計	6	3	1	2	1

⑤ 第2試合【2回戦】

6/2(日) 10:15 千曲橋緑地グラウンドA

久保田 生涯初登板
2回無失点&初ヒットで敢闘賞
持丸 初先発もホロ苦いデビュー

横濱フォーティーズ	(1)	(2)	(0)	(1)	(2)	(0)	計	安打
	0	1	0	1	1	0	3	(6)
本庄クラブ	(4)	(3)	(2)	(0)	(0)	X	9	(7)
	(埼玉)	(3)	(1)	(2)	(0)	(1)		

勝 八木 S 岩崎 敗 持丸

V打点: 川名

三塁打: 板倉(本庄)

二塁打: 岡崎(横浜)・飯島(本庄)



<敢闘賞>
来年以降の先発の座をゲット!?
見事な投球でした。

久保田



多勢に無勢?

本庄					横濱						
守	氏名	打数	安打	打点	盗塁	守	氏名	打数	安打	打点	盗塁
6	飯島	3	1			6	伊藤重	1	1		1
7	岡部	2				2	太刀岡	2			
1	八木	2	2			4	大西	2	1	1	
PR	中村				1	1	持丸	2			
8	笹井	1	1	1	1	8	佐藤隆	2			
5	矢沼	2		1		7	岡崎	1	1		
3	川名	2	1	2	1	3	丸山	2			
9	板倉	2	1	2		5	塚田	1	1	1	
2	常田	2				1	久保田	1	1		
4	桑原	2				9	弘中	2	1	1	
D	岩崎	2				D	福島	2			
D	竹本	1				D	秋葉	2			
D	荒井	1				D	有馬	2			
PH	山田	1	1			D	小林一	1			
D	石田	2									
チーム計 25 7 6 3					チーム計 23 6 3 1						

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	四球	三振	失点	投手	回数	安打	四球	三振	失点
八木	3	3	0	1	1	持丸	2	4	2	1	7
岩崎	3	3	3	3	2	塚田	1	2	0	0	2
						久保田	2	1	0	1	0
チーム計 6 6 3 4 3					チーム計 5 7 2 2 9						

前日初戦を落とすが2連勝すればブロックVには望みが繋がると臨んだ第二試合。初回表切り込み隊長の伊藤重中前安打即盗塁でいい形を作るが、後続倒れて先制機を逃す。その裏先発のルーキー持丸がテンポ良く内野ゴロで2死を取るが、内野安打四球失策で満塁のピンチを招き6番川名に右前適時打、7番板倉に右越大飛球を浴び4点を奪われる。しかし打者走者はランニングHRを狙って本塁を突くが、太刀岡伊藤重の好中継で憤死。緊張感溢れるプレイで逆転に意気高揚する。2回すぐさま岡崎に二塁打、塚田に左前適時打が出て1点を返す。しかしその裏8番からの下位打線に内野守備が大幅に乱れ、無安打で3点を献上し苦しい展開になる。3回にも上位打線で2点を追加される。後がない我軍は4回無死一・二塁、5回1死満塁と攻め立てるが、いい当たりが正面を突く等いずれも併殺を喫し大量得点には至らなかった。序盤の失点がひびいて連敗となりブロックVを逃した。しかし2番手久保田のタイミングを外す好投が光った。(浜翔:石川伸)

⑤ 第3試合【3回戦】

6/2(日) 13:45 千曲橋緑地グラウンドA

再三のチャンスに1本が出ず生涯初の屈辱の3連敗を喫す
岡崎 盗塁を2刺殺で敢闘賞

横濱フォーティーズ	(0)	(0)	(1)	(2)	(1)	(2)	(2)	計	安打
	0	0	0	0	0	1	0	1	(8)
朝霞ニューエルダース	(0)	(2)	(0)	(0)	(2)	(0)	X	4	(9)
	(埼玉)	(1)	(3)	(0)	(1)	(3)	(1)		

勝 伊藤武 H 加藤 S 飯田 敗 塚田

V打点: 飯田

二塁打: 伊藤武・鈴木・高柳(朝霞)



<敢闘賞>
こちらも生涯の正捕手をゲット!?
2刺殺お見事でした。

岡崎



わ! 更に多い!!

朝霞					横濱						
守	氏名	打数	安打	打点	盗塁	守	氏名	打数	安打	打点	盗塁
2	山下	2	1			6	伊藤重	2			1
6	河野	2	1			9	太刀岡	3	2	1	
D	丹羽	2				4	大西	3			
9	清水	2				5	持丸	3			
1	伊藤武	2	1			8	佐藤隆	3			
7	鈴木	2	2	1	1	7	岡崎	3	2		
3	飯田	2	2	1	1	D	丸山	3	1		
5	高麗	2		1		1	塚田	3	1		
8	阿部	2	1	1	1	3	福島	2			
4	高森	2				2	有馬	2			
D	塩野					D	弘中	2	1		
PH	加藤	1				D	久保田	1	1		
D	小原	1									
PH	高柳	1	1								
PR	榎本										
D	金井	2									
チーム計 25 9 4 3					チーム計 30 8 1 1						

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	四球	三振	失点	投手	回数	安打	四球	三振	失点
伊藤武	3	1	0	3	0	塚田	2	4	0	0	2
加藤	3	5	2	1	1	持丸	3	4	1	3	2
飯田	1	2	0	1	0	久保田	1	1	0	0	0
チーム計 7 8 2 5 1					チーム計 6 9 1 3 4						

なんとか勝ち星をと望んだ第三試合は初回またも1死三塁の先制機に2者倒れ得点ならず。先発のマウンドには再び塚田が登る。初回裏は難なく抑えるが、2回3安打3盗塁を決められ2点を失う。ここまできるとしっかり研究された攻撃を仕掛けてくる。2番手持丸は3、4回を3人で退け試合は後半へ。4回2安打と失策で1死満塁のチャンスを迎える。ここで4番の持丸に期待がかかったが、いつもより2m強近い投手との距離感をつかめず凡退する。続く佐藤に望みを託すが、相手捕手から鋭い牽制に二塁走者が刺されチャンスを潰す。ベンチも気付かず課題が残った。逆に3イニング目で持丸が捕まり長短打で追加点を奪われる。本塁が遠い我軍は5回無死一三塁で得点ならず、6回1死満塁で太刀岡に右前適時打が出るが、またも要所で併殺を喫し1点を返すにとどまった。昨年の3連勝でステージアップして望んだ今大会だったが、上位チームの厚い壁に阻まれた結果になった。(浜翔:石川伸)



サインの確認。あれ? そっぽ向いてる人も。



はい、勢揃い。お疲れ様でした。